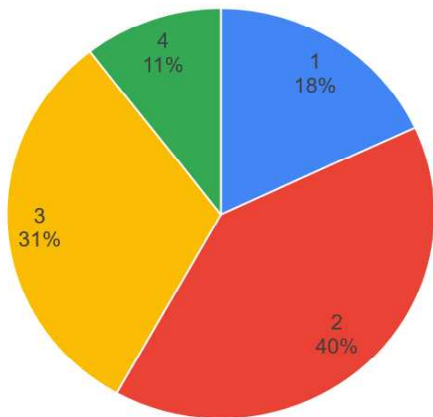


☆ 「学習についてのアンケート」結果※抜粋 ☆

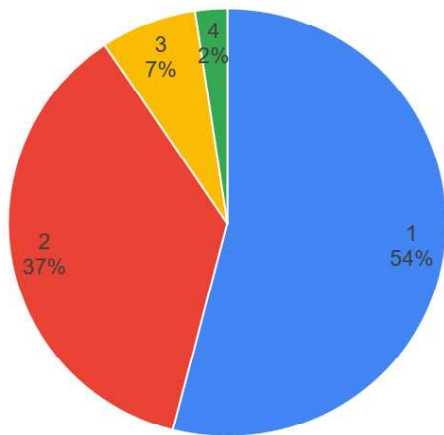
本校では、生徒の主体性を高める授業作りを研修テーマにしています。過日、全校生徒に全31項目ある「学習についてのアンケート」に取り組んでもらいました。一部ではありますが、その結果を紹介します。回答は、**1：当てはまる 2：どちらかといえば、当てはまる 3：どちらかといえば、当てはまらない 4：当てはまらない**です。

1 わからないことがあると、先生に聞くことができる



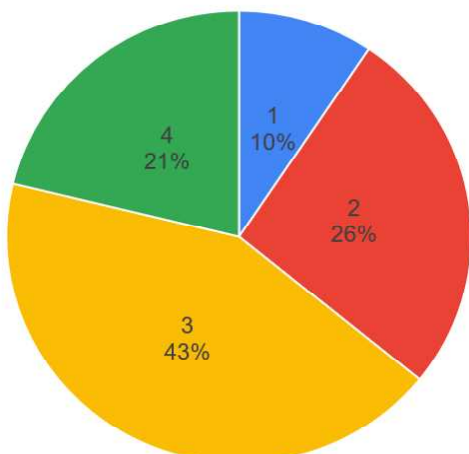
*1+2+3+4

9 社会のために役立つような人になりたい



*1+2+3+4

20 難しい問題にであうと、よりやる気が出る



*1+2+3+4

1 わからないことがあると、先生に聞くことができる

半数以上の生徒が「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」という回答でした。

一つの授業のなかで、「今日はこんなことがわかったぞ!」という実感をもてることは、自分自身の成長や次の学習へのやる気につながるものです。

「こんなこと聞いても大丈夫かな?」と不安に思う必要はありません。わからないことをそのままにしない、という姿勢はとても大切です。テスト前の朝勉強や、夏休みの補習などは、質問できる絶好のチャンスです!

9 社会のために役立つような人になりたい

この質問は、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」の回答が一番多かった質問です。9割以上の生徒が、「社会のために役立つような人になりたい」という回答でした。将来に希望をもっていることがわかり、とても嬉しく感じるアンケート結果でした。

中学校生活は、その先に続く長い人生に向けた準備を少しずつしていく大切な3年間です。学校の内外での様々な人との関わり、学校行事に加え、「日々の授業」にしっかりと取り組むことで、社会に出てからも活用できる知識や思考力を身につけることができます。また、そうすることで「一生懸命取り組むことができる真摯な姿勢」も身につけることができるのではないのでしょうか。

20 難しい問題にであうと、よりやる気が出る

最後にご紹介するこの質問は、何項目もあるアンケートのなかで、「どちらかといえば、当てはまらない」「当てはまらない」の回答の割合が計64パーセントと、多かったものです。難しい問題に直面したときに、諦めてしまう傾向があるように受け取ることができます。

粘り強く取り組むことで、新たな解決法が見つかったり、自分自身にまだ足りていないものを見つけて次の学習につなげたりすることができるものです。

生徒がより粘り強く、物事に向き合えるように、学校でも支援していきたいと思えます。

～また機会がありましたら他の項目についてもご紹介致します～